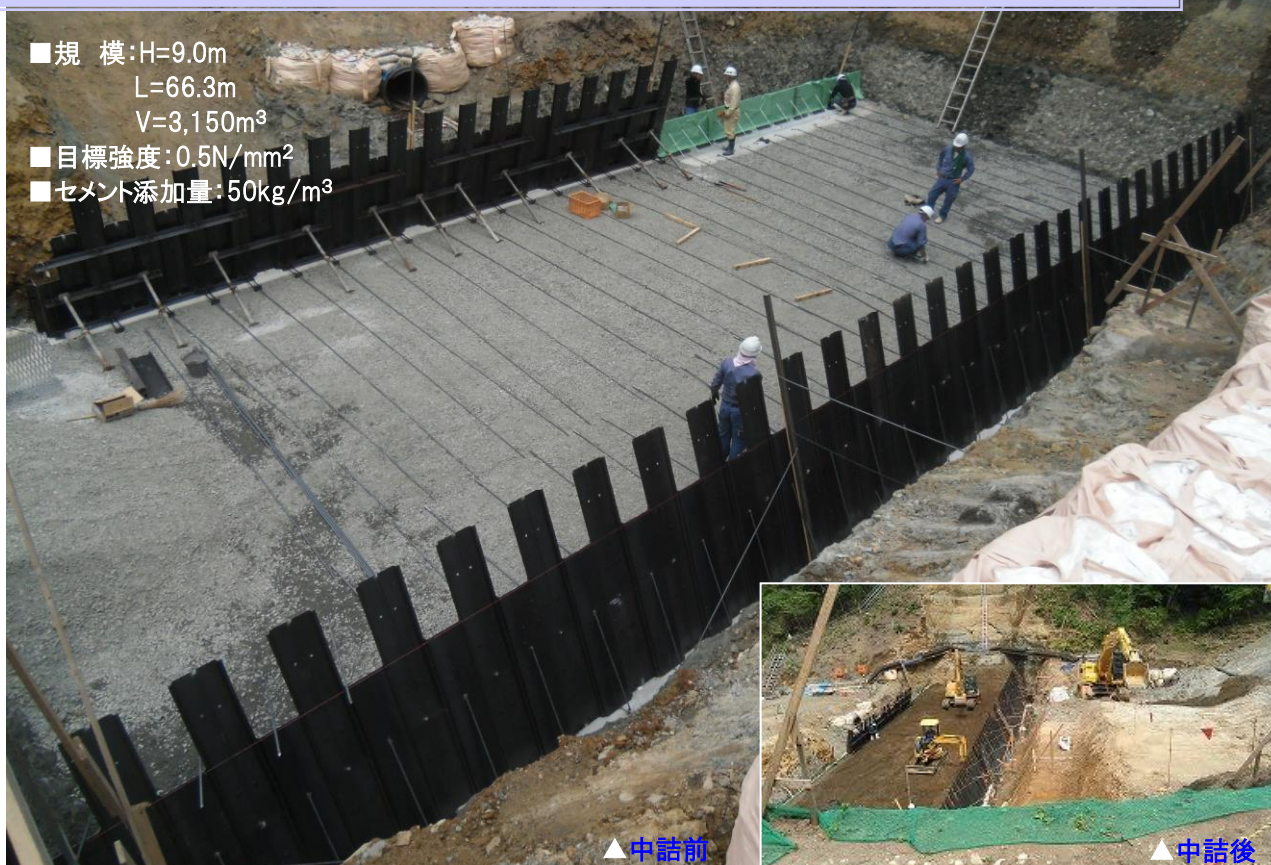


INSEM-ダブルウォール(DW)現場見学会 (広島県)北部建設事務所庄原支所【陰地川】



- 規模:H=9.0m
L=66.3m
V=3,150m³
- 目標強度:0.5N/mm²
- セメント添加量:50kg/m³

▲中詰前

▲中詰後

今回の現場見学会は、「近年は採用も増えているが机上では細部まで分からない。実際の現場を見て今後の検討に役立てたい。」とのご要望がきっかけとなり、宮田建設様のご協力のもと開催させて頂くこととなりました。

コンクリート堰堤などの現場では「トラックの往来に近隣住民が不安を覚え・・・」「現場が狭く、資材搬入・残土搬出が困難」という課題が最近多く聞かれることから、まずはINSEM-ダブルウォールの材料仮置き状況をご覧頂きました。

特に下流壁面材のL型ユニット(2m)80枚の仮置き占有面積(約1.5m²)が壁面施工面積約100m²分に相当することに驚かれ、「部材がコンパクトで資材搬入においてのメリットを実感した」との感想も頂きました。その他、壁面材の組立状況・中詰状況(17日のみ)などご覧頂き、中詰材の締固め具合も確認して頂きました。

開催日:2015年6月17日、18日
参加者:コンサルト7社(17名)

施工業者:宮田建設株式会社



見学会に参加された皆さんの実際の感想をいくつかご紹介致します。

- 資材がコンパクト！狭い現場でもいけそうだ。
- 土を持ち出さなくても良いのがメリット。
- 災害堰堤のように早期完成が求められる現場ではコンクリートよりINSEM-DWがよいと思った。
- 資材置場や施工ヤードは思ったより場所を取らない。設計で気を付けることは残土置場だけだね。
- 見学会の場所がちょっと遠かったけど、来た価値があった。見に来て良かった！
- 見た目には土っぽいのにしっかり固まっている意外と硬いんですね。
※前日締固めた中詰を触った感想
- 施工が本当に早いですね！
※中詰開始5日でH=1.8m(V=390m³)まで立上がっていることに対する感想
- 他のINSEM堰堤を施工した時は壁面際の転圧に神経を使った。INSEM-ダブルウォールは上下流壁面材をタイ材で連結してるから心配ないと聞いていたが、本当にしっかりと転圧できる。
(施工業者の声)



お忙しい中、
ありがとうございました。

